

橋下大阪市長「慰安婦は必要」発言に抗議する決議案 自・公・民など反対し否決



一般質問日程

*議会傍聴にお越しください。なお、詳しい発言開始時間については党議員団又は議会事務局にお遠い合わせ下さい。

●6月12日(水)

・坂本優子議員 2番目

- ①TPPについて
- ②農業支援について
- ③塔の島地区改修事業について

●6月13日(木)

・宮本繁夫議員 2番目

- ①市長の政治姿勢について
- ②地域防災について
- ③市民の暮らしと安全を見守ることについて

●6月14日(金)

・水谷修議員 1番目

- ①安倍政権の経済政策の影響について
- ②民間及び官庁での低賃金対策について
- ③国民健康保険広域化・一元化について
- ④昨夏の豪雨被害について

・渡辺俊三議員 3番目

- ①住宅改修助成制度の実施
- ②廃止バス路線の復活

・木沢浩子議員 4番目

- ①高齢者施策について
- ②踏切問題について
- ③「慰安婦」問題について



自民・公明・民主が反対した 「橋下徹大阪市長の『慰安婦は必要』 発言に抗議する決議案」

橋下徹大阪市長は、「旧日本軍による『従軍慰安婦』は必要だった」、沖縄海兵隊司令官に海兵隊員のエネルギーを発散させるために「風俗業の活用」を提案したなどと発言している。

女性を性の道具として見る今回の一連の発言は、女性だけではなく、すべての国民の人格や人権、そして尊厳を深く傷つけるものである。また、これらの発言が、市民の人権を守り抜くべき公人によるものであるということに、私たちは大きな衝撃を受けている。

私たちは、すべての市民の人権を擁護する立場の宇治市議会議員として、また国際平和を望む宇治市民として、ここに橋下徹大阪市長に対し強く抗議をする。

橋下大阪市長の一連の問題発言は、日本国内だけでなく、韓国、中国、インドネシア、アメリカ、イギリスなど世界各国から、国連事務総長からも厳しい批判の声があがっています。おりしも議会役員選挙で女性議長（民主）が選出された直後。女性の人権だけでなく人間の尊厳を否定する橋下発言に、議会として抗議の決議を上げるのは当然ではないでしょうか。しかし、抗議の決議案に、自民・公明・民主・無党派が反対し、否決しました。

また、6月議会に市民から、女性議員で抗議の声明を求める陳情書が議長に提出されましたが、議長は「公明党が反対」しているとして、陳情に応えませんでした。

市議会では、昨年6月議会に市民から提出された、政府に従軍慰安婦問題に対し誠実な対応を求める請願が採択され、政府に対する意見書が賛成多数で可決しています。

臨時議会二日目の21日、共産党議員団は他会派に呼びかけ、橋下大阪市長・日本維新の会共同代表の「『慰安婦』は必要だった」、沖縄海兵隊司令官に「風俗業の活用を」の一連の問題発言について、議会として抗議の決議を上げることが提案されました。



共産党議員団 議会3ポストを担う

5月20・21日、宇治市議会臨時議会が開催され、後期の役員選挙が行われました。共産党議員団から山崎恭一議員が副議長に、宮本繁夫議員が議会運営委員長に、渡辺俊三議員が文教福祉常任委員会副委員長に選出されました。共産党議員団は、市民に役に立つ議会、市民に開かれた透明で公正な議会運営にいつそう奮闘します。